

平成 29 年度第1回(通算 13 回)
天理市上下水道事業経営審議会 議事録

会 議 名 称	平成 29 年度第 1 回天理市上下水道事業経営審議会
開 催 日 時	平成 30 年 2 月 22 日(木) 14:00 ～ 15:20
開 催 場 所	天理市上下水道局 2 階会議室
出 席 委 員	伊藤忠通 中室克彦 足達隆臣 榎堀秀樹 大藤憲告 大中由美 大橋基之 鎌田稔 川崎祥記 島田武彦 山村秀章
欠 席 委 員	—
出 席 職 員	並河市長（上下水道事業の管理者）、幸田上下水道局長、山本上下水道局次長、岡林上下水道局次長、平畠総務経営課長、岩田給水課長、島田浄水課長、谷川下水道課長、村田経営管理室担当課長、奥村経営管理室長、藪野経営管理室主査、伊藤経営管理室主査、山岡総務経営課職員
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 事務局紹介 5. 会長、副会長選出 6. 会長あいさつ 7. 議事録署名人の指名 8. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 28 年度上下水道事業の財政状況について (2) 水道事業の広域化について（報告） <ul style="list-style-type: none"> ～ 県域水道一体化の目指す姿と方向性（奈良県）～ (3) その他 9. 事務連絡 10. 閉会

議事内容

司会	【開会】
市長	【市長挨拶】
司会	【委員紹介】
	【事務局紹介】
	【会長、副会長選出】
会長	【会長挨拶】
議長	【議事録署名人の指名】
	<p>本日の議事、大きく2つございます。1番目の「平成28年度上下水道事業の財政状況について」事務局から説明よろしくをお願いします。</p>
事務局	【平成28年度上下水道事業の財政状況についての説明】※別紙1
議長	<p>はい、説明ありがとうございました。では、ただ今説明がありました内容について皆様からご意見ご質問ございましたらお願いします。まずは上下水道の財政状況についてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>この決算報告はいつもやっていただいています。上水道でいきますと決算で2億5,600万円の利益があったと出ているのですが、これを前年と比較すると、ここには載っていないのですが、7,500万円去年に対して今年は利益が減りましたという決算になっているんですね。で、ここに、経営分析したやつを報告いただいているのですが、わかりやすい傾向値グラフを出していただいているのですが、要は前年に対して利益が7,500万円マイナスになりましたと。この要因は何なのかなと言うことを経営分析してもらって、少しサマリー（要約）で出していただけたら一番ありがたいなど。大きく分けて既存給水とそれから新規の給水とそして、大口の</p>

議長	<p>需要の変動と固定費の増減があると思うのですね。それで、7,500万円のうち、既存の中ではどれぐらいの利益が減ったのか、という風な分析をやっていただければ非常にわかりやすいし、経営審議会のメンバーの方々がどういう要因によって利益が増減したかわかりやすいのではないかと思いますよ。できれば、そういう分析をやっていただければ実態がより明確になって、今後の政策の展開とかそういうことに対しても助言ができるのではないかなと。今やってもらっているのが、この費用の水平分析みたいな形になっていまして、それを垂直に落としていくという考え方を取り入れていただいた方がいいのではないかなと言う風に私は思っております。</p> <p>はい、ありがとうございます。事務局の方でもその辺は把握しているとは思いますが、今わかれば説明していただいて、次回以降そういうコメントを付けていただければと思います。今年度に関しての利益の変化と費用の変化等で原因とか理由が分っていれば説明していただけますか。</p>
事務局	<p>詳しく給水原価等の1㎡あたりどれぐらいの費用がかかっているのか、そういう分析結果を交えまして、今後示していきたいと思っております。</p>
議長	<p>収益が減った主な理由は、おそらく水量が減っているからだと思いますが、あと、コストが増えた分は、他に何かありますか？昨年度から1年、2年の間で。</p>
事務局	<p>昨年度と比較しまして、給水収益が1億5,316万9,409円6.7%の減少でございます。そして費用につきましては、受水費、受託工事費、企業債利息等々の経費の節減を行いましたところ、前年度に比べまして7,808万1,451円4%減少しております。</p>
議長	<p>今、委員の方からご質問ご指摘があったように、今後、財政状況を報告するにあたっては変化の要因を合わせて資料と</p>

委員	<p>してコメントをつけていただければ、我々としても今後に向けてのいろいろなアドバイスや意見が出せると思いますので宜しくお願ひしたいと思ひます。では、他の委員いかがでしょうか。シミュレーションに関してはどうでしょうか。これも上方修正されたということですがけれども。</p> <p>上方修正をやる必要があるのかなという気がしています。というのは、傾向値としてよくわかったという事と常に年間決算に基づいて修正していくのかと言うのが、それがいいのかどうか別にやらなくていいのかなと言うのと、値上げありきという感覚を受けるんですね。で、財源確保は値上げしかないと言っているように感じてしょうがなく、市民感覚からすればちょっとおかしいかなと。経営審議会に関わるにあたって値上げしかないんだという提案というのは、本来おかしいのではないかなという気がするんですね。と言ひますのは、市民としてはもっと努力してほしいという気持ちを持っていると思うので。経費も非常に切り詰めて努力されているというのは重々聞いております。そこのいわゆる費用だけを見てどうこうと言うよりも、そこに最大の努力が結集されているのであれば、次はやはりビジネスモデルの再構築と言うところに切り込んで、そして、値上げしなくてもいい幅はどれぐらいあるのかなと言うことを提案してほしいなど。やはり値上げというのはかなり市民としては受け入れがたいものがあると思うので、当然そのためにはどれぐらいの努力を市が、水道局がされているのかということを示す必要があるのではないかと。それはあらゆる角度から取り組むことによって改善改革ができる幅がもっとあるのかなと、思ひますけれども。と言ひるのは、最近、PFI ですかね、民間に委託すること、民間はそれを受けて利益を得ようとする。ということは、市の方もそういう感覚を持てばもっとコストダウン</p>
----	--

	<p>できる幅があるのではないかなど。いわゆる一般企業に委託すれば利益を取るという考え方ならば、じゃあ市の方でも利益を取るという考え方へ仕組みを変えていけばいいのではないかと、感じたものですから、意見を言わせていただきました。</p>
議長	<p>ただ今のご意見に対して、事務局からコメントはありますか。今の委員のご意見は、どうも値上げのタイミングをいつにするかを見ているような気がする。年々状況が変化しますから、シミュレーションをその都度その都度状況が変わればやっていくのは必要なことだとは思いますが、私は値上げありきじゃなくて、この今の状況で行くとこのあたりでマイナスになるからそれを回避するためにはどうすればいいかと言うことを考える材料としていただければと思いますけど、どうですかね、事務局何かコメントはありますか。</p>
事務局	<p>去年は、大幅な状況変化で水需要が急激に減りまして、その中でこれから今後上下水道事業はどうなっていくのかというところからこのようなシミュレーションをさせていただきました。しかしながら、若干（水需要の）減り幅が少なかったことから、もう一度シミュレーションして、このような数字になりましたというところを示しております。</p>
議長	<p>大体主張されたいことはわかりますけれど、シミュレーションっていろいろな与条件がありまして、与条件は変化しますから、県営水道一本化になったらまた大きな変化になると思います。そのあたり事務局としてはシミュレーションの前提条件が刻々と変わるなかで、多少なりともシミュレーションをして我々の方に情報提供していただければ、色々な意見も出せると思うので、今の委員の意見を参考にさせていただいて、審議会にて色々説明していただけたらと思います。</p>
委員	<p>表の1ページの(5)ですね、水源別配水量とか受水費が</p>

<p>議長</p>	<p>あるのですが、これは 1 m³当りの単価に直すといくらとかです すね。特にデータを見せていただきたいと思うのは、県営水道の ウェイトですね。当初は6割近いウェイトがあつて、全体的な給水の減少 によって今は5割ぐらいですかね。このウェイトが違っているのが、 全体の収益とどういう関係があるのかと。例えば、今後一体化の話も ありますが、県営水道のほうが高いという話をされておりましたね。 その辺の影響がどの程度あるのか、今後見る場合にそういうことも 解析が必要だろうと思うので、是非次回にでもそのあたりを経時的に 10年前ぐらいから、ウェイトと収益との関係をお見せいただければ と思います。</p> <p>何回か前の審議会の中で、浄水場の時に色々とシミュレーションを されて、県水を買った分と、自己水でやった分とで単価を出して計算 されましたね。だから今はその自己水がまだあるからそれを出来る だけ使っていこうということで、県水の受水を減らして今県水のウェイト が減っていると。それは何故かという、県水の単価が高いからという 事ですね。それは県水が増えると受水費が増えるし、自己水をやると 収益が増えるし、そういう関係になっていますよね、支出と収入は。 ただ、これが今後どうなるかわからないところもありますので、前提 条件が前と変わりそうですから、そのあたりも慎重にやっていただければ と思います。もし時間がありましたら後でまたお気づきの点がありましたら お聞きしたいと思います。では今後の天理市の上下水道、特に上水道、 県の県営水道一体化の問題について次の議題を説明していただきたい と思います。</p>
<p>事務局 議長</p>	<p>【水道事業の広域化について説明】 ※別紙 2</p> <p>かなり大きな問題でございますが、まだ方向性については未定という ことでございますけれども、委員の皆様、これに</p>

委員	<p>ついて何かご意見ございましたら、いかがでしょうか。</p> <p>感覚で結構ですけど、これはやはり進めて行かれるものだと思いますが、天理市が入るメリットはありますか。</p>
事務局	<p>昨年の10月に県の構想として、お手元の資料が打ち出されたばかりでございまして、まだ市としてこれから県と一緒になりまして協議を進めていく段階でございまして、今の段階ではどのようなメリットがあるのかというところまではお答えできることはございません。</p>
議長	<p>感覚的には、各自治体が自分のところで施設を持たなくていいと。県にやってもらうと、今後の更新というのが無くなって行きます、その分負担は軽くなります。ただ、全県統一の水道料金になった時にそれぞれの自治体の水道料金が高いところ低いところの差がありますから、どのレベルになるのか、それが市民としては気になるところでしょう。今これと似たような形で国民健康保険が全県統一になりまして、あれも保険料が高いところ低いところありますので、それを県が激変するところは緩和するような策を取っていますけれど、おそらくそういうところも課題になってくると思いますね。まだ想定が難しい状況であるということ間違いありません。ただ、財政力の弱い事業体は将来自らその施設を維持管理していくとか、人の問題ですね、職員を確保して、水道の技術をきちんと継承していけるのかとか、その課題にどう対応していくのかというところに関係するので、おそらくこれから色々提案が出てきて、我々がそれに対して意見を述べるという段階がいずれ来ると思います。他の委員の方いかがでしょうか。</p>
委員	<p>専門ではないのですが、国の姿勢はどのようになっているのでしょうか、また、どのように聞かれているのでしょうか。平成38年に統合して、10年以内に全てが一本化にするという</p>

	<p>のでしょうか。そうであれば、施設とか資産的なものは全て県に移譲するのかというような点や基本的なものなどが全て県営になるわけですから、そのようなやり取りは基本的にこれらを肯定したうえで動いているのか、そのあたりはどうでしょうか？</p>
事務局	<p>県や県水の考えとしましては県が主導で広域化を進めますが、事務組合や企業体を構成して運営していくと。</p>
委員	<p>県営じゃないという事ですね？</p>
事務局	<p>そうですね、県水も手を放すし、市町村も手を放して1つの事業体を作ってそれで共同で運営していくという風なイメージを、県は説明されています。</p>
委員	<p>小規模で組合組織がありますよね。</p>
事務局	<p>一部事務組合や企業体とか。</p>
委員	<p>そういうイメージですね。</p>
事務局	<p>そうですね、他府県でよく広域化されているのと同じようなイメージで、この先駆のモデルとしては香川県ですでに広域化を、全県一本化を進めておられるのでそれを睨みながらというところはあると思います。</p>
委員	<p>今おっしゃったスケジュールに書いてある事業体と言うのがもし事務組合と言う事になりますと、負担金的なものをどこがどう負担するのかとか、施設をどこがどう管理するのかとか、償却資産をどのように行使していくのか等、課題がおそらく山積みのはずですので、今から10年以内に経営統合はなかなか難しいだろうと、表を見ただけでわかりますが、スケジュール自体、県下全自治体がそれに向けて「頑張ろう」という意欲があるんでしたら、やっと（実現）出来るスケジュールになっていて、温度差があれば、かなり実際のところ難しい日程じゃないかと感じます。それと、香川県が広域化のモデルケースとして進めているとおっしゃいましたが、お</p>

事務局	<p> そらく香川県は小さい面積の県ですから、県内の各市町村の事業環境はある程度、似通っているのではないかという印象を受けます。奈良県の場合は盆地部分と南部、東南部の山間とは全然事業環境が違いますから、その点から見ても県下一体で事業を進めるという事はなかなか困難でしょうし、事務組合は、県下でも数か所の公共団体が清掃工場とか色々やっておられますが、大概、経営をしている中で負担金どうする運営資金どうする等、経済的な面で各市町村民から色々な意見が出てきて、市長がその意見をしん酌しながら事務組合の経営に参加していく過程で、負担金の割合がどうだとか色々なことが経営過程で出てきて、そうそう円満に進んでいくものでもないので、当初のそもそもが協議会設立までのビジョン策定の段階でかなり慎重に各地域柄、地形や面積や人口密度とかですね、そういうものを考えながら、特に負担金の部分とか財政的な面でかなり慎重にプランを練っていかないと、どこかで不平不満が出てきて頓挫するということにもなりかねないので、まだこれからの事だと思いますが、現実には色々な事務組合が県内にもありますが、そうそううまくは行っていないみたいですね。そういうことも参考にしながらやってもらわないといけないと思いますが、少なくともこのプランは10年でどうこうなる話ではないような感じがします。 </p> <p> 確かにタイトな予定だと私達も感じております。香川県の場合は、合併が進んだ関係だと思いますが、水道事業体の数が少なく、それに比べて奈良県は県営水道エリアだけでも24市町村と、多様な意見が出るのは必至でありまして、それをどうまとめるかと県も苦慮されているところです。その為に全体説明会と北和4市や中和といったブロックごとに意見交換されているのが現状です。県が平成38年と言っておられるところは、一体化に向けて国から交付金が受けられるので、 </p>
-----	--

<p>議長</p>	<p>それを 5 年とおいておられるわけですが、スタートが実際平成 32 年になるのか平成 33 年になるのかというのは私達もこれから県を交えて、どの条件をどう決めるかということをもまず決めていくというのが 1 つです。あと、先ほどおっしゃられたところがメリットなのかということを含めていきたいと現在考えているところでございます。</p> <p>他いかがでしょうか。委員のご懸念も当然と思いますが、一体化と言っても実態は一体じゃないんです。特に、北部の県営水道のエリア、ここだけがほぼ一体化と考えるところまでが実質だと思います。南部はもう簡易水道エリアですから難しい。五条吉野はその中間にあって、どうするか。北部の県営水道エリアに入れられるかが課題なので。天理市から考えたら天理市民にとってライフラインである上水・下水、これが適正な料金でサービスを受けられるのかどうか。将来的に人口減少しますし、老朽化で耐震の問題とかそのための更新費用が莫大に掛かりますから、そこをもし県とうまくやってコストダウンできるのであればいいですが、そこが料金にどう跳ね返ってくるかという話でして、そこはこれからこの審議会の中で色々議論するところかなと思いますけれど、まだ詳細が分からないということですので、情報が入り次第また色々情報提示いただければと思います。他の委員の方いかがでしょうか。この県営水道一体化の話以外でも結構ですので、他に何かあれば。よろしいでしょうか。では特にご意見が無いようでございますので、議題 3 その他でございますが、事務局何かございますか。</p>
<p>事務局 議長</p>	<p>【マンホールカードについて説明】 ※別紙 3</p> <p>これについて何かございますか。意外とマンホールカードを集めに来る人が多いなど、びっくりしました。あと、余談ですが、これの先駆けのダムカードもファンが多くて各ダム</p>

事務局 司会	<p>でダムツアーとかが開催されていますね。天理にもダムがありますよね。ダムカードもあるのですか。この上下水道に関係があるということで。他にご意見ございませんでしょうか。特にないようですね。1番目の議題で、今後財政状況を報告いただく場合、変化がある時には変化の要因も合わせて報告していただければと思います。それでは議題は全て終了致しました。</p> <p>【事務連絡】</p> <p>【閉会】</p>
-----------	--